

主題研究通信①

令和6年6月20日(木)
研究主任

各クラス、日々の取り組みありがとうございます。

5月に話し合ったことをもとに、それぞれの学年でどのように取り組みが行われているか、また、1か月程継続して、今どのような成長がみられるか、低学年を取材してきました。

低学年の実態

実態

- ・自分たちが経験したことなど、書きたい気持ちがあると、文章を書こうとする。
- ・文章を書くことに慣れていない。
- ・言葉を知らない。(つなぐ言葉)

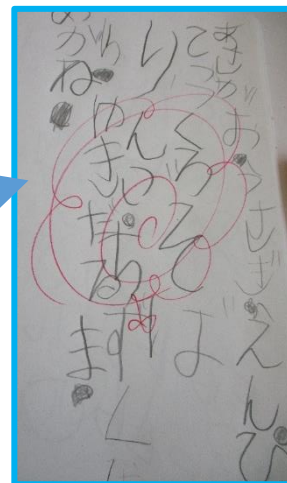
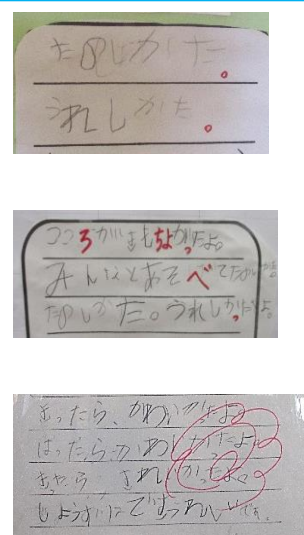
1年生

- ・語彙を増やすために、定期的に「あのつく言葉」など言葉集めをする。
- ・行事があるたびに、写真とコメントを書き、書く量がふえるようにする。
- ・基本的な助詞「が」「は」「を」「へ」などを使えるようにする。
- ・視写を定期的に行い、書くことに慣れる。



気づいてほしい「を」などには、丸をつけて強調！

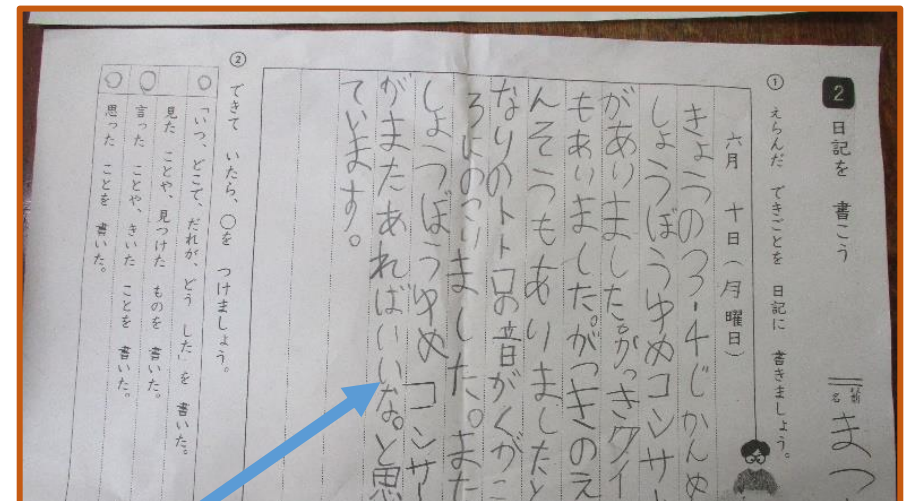
同じ児童の4月からの成長



牧山小学校 主題研究で目指す子どもの姿

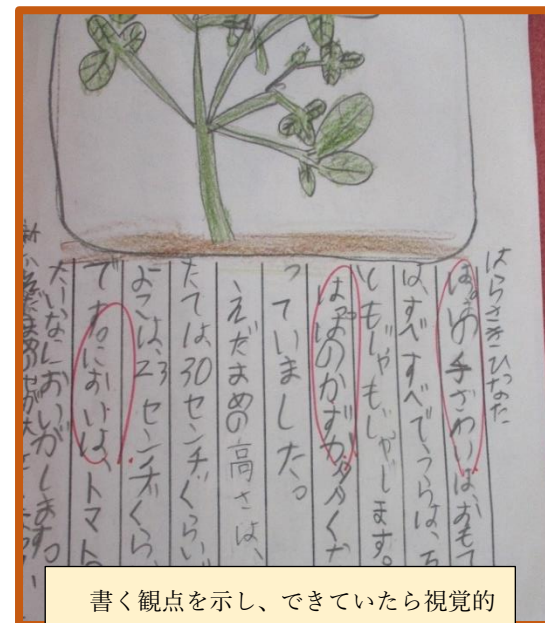
低学年	・経験したことを基に、順序に沿った文章を書ける子ども ・文章を書くことに、なれている子ども
中学年	・相手に伝わるように言葉を選んで自分の考えや思いを伝える文章を書ける子ども
高学年	・自分の考えが伝わるように、筋道の通った文章を書ける子ども

すでに、10枚以上書き溜めているそうです。



2年生

- ・日記を週に1回は書き、書く経験を積む。
- ・接続詞や時を表す言葉を掲示し、適宜確認して使えるようにする。
- ・視写を定期的に行い、書くことに慣れる。



書く観点を示し、できていたら視覚的に分かるように、丸をしている。

低学年の先生たちの話の中で、「書く力をつけることを意識し始めて、言葉かけが変わったからか、よく書くようになった。」というような話が多く聞かれました。

夏休みまであと、1か月。

あまり取り組みができていない学年も、早めにルーティーン化して、実りある取り組みができるようにしていきましょう。

急に取材に行くと思います。快く受け入れてもらえると嬉しいです。